

令和5年度 関東地方ESD活動支援センター ESD学び合いプロジェクト

「土地の成り立ちを知る事の重要性」



関東地方ESD活動支援センター
Education for Sustainable Development

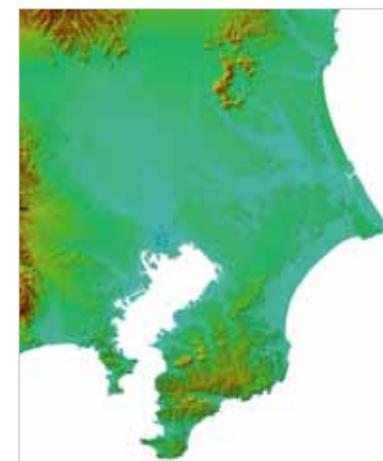
伊藤博隆

防災の中でも「水害」については、自分の住んでいる土地の成り立ちや地形を知るとは、とても大切です。



6000年前の千葉県

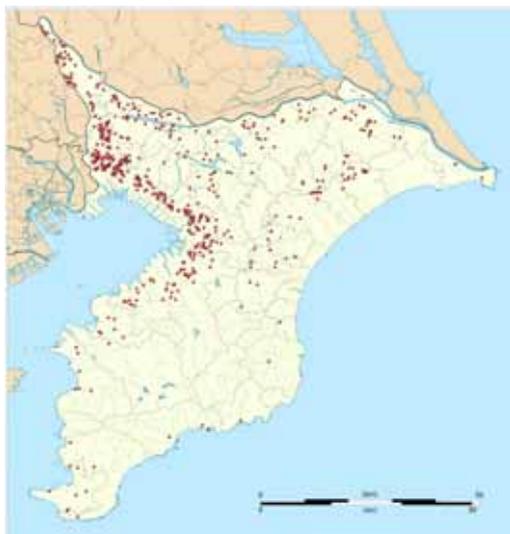
出典：嵐山町web博物誌ホームページ



現在の千葉県 出典：地理院地図

地球の自然の気候変動サイクルにより、約6,000年前の縄文時代は年平均で今より1~2℃気温が高く、海面が今より2~4m高かった時代がありました（縄文海進）

千葉県は、海面上昇の影響を非常に受けやすい地形であることから、縄文時代と現代では、海岸線の形が大きく変わっています。



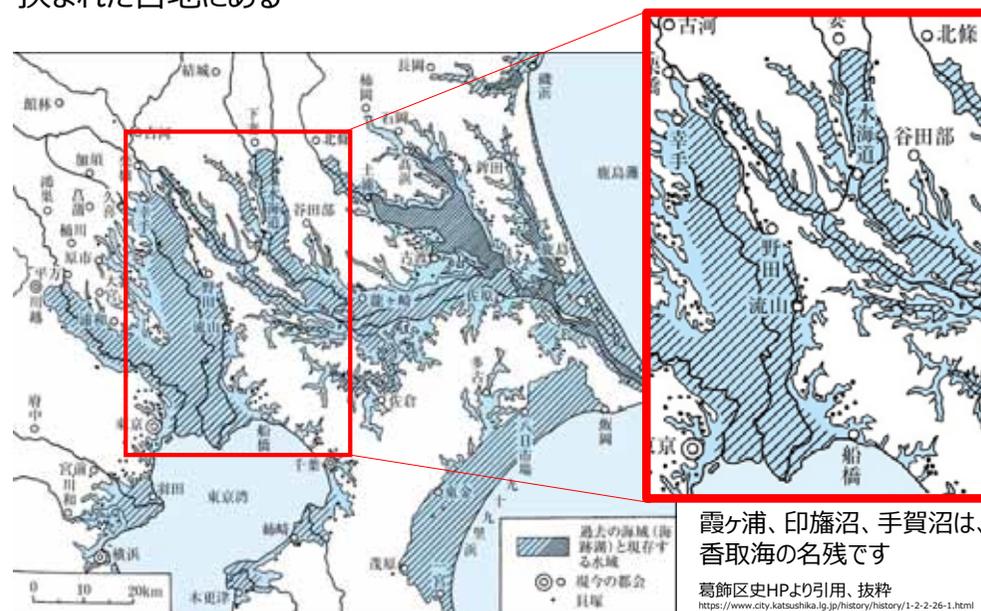
千葉県は貝塚数が日本一

日本には約2500個所の貝塚があるとされ、そのうち約650か所は千葉県にあり、全国の1/4近く、日本で一番貝塚が多い。

狩猟採集で暮らしていた縄文人は、当時の海沿いで暮らしていました。貝塚の分布が現在では内陸にあるのは、当時の海岸線と今の海岸線が異なる証拠です。

出典：（財）千葉県文化財センター

流山は、西の東京湾、東の古鬼怒湾（香取の海）に挟まれた台地にある



霞ヶ浦、印旛沼、手賀沼は、香取海の名残です

葛飾区史HPより引用、抜粋
<https://www.city.katsushika.lg.jp/history/history/1-2-2-26-1.html>



流山市の縄文遺跡の分布

紫色 = 縄文遺跡
水色 = 当時の海

縄文遺跡は、当時の海岸線に沿って分布している。

出典：流山市立博物館

貝種			魚類		甲殻類	哺乳類
イボキサゴ	オカミガイ	カガミガイ	エイ類	ハゼ科	フジツボ類	モグラ類
スガイ	ツノガイ科	アサリ	サメ類	コチ科		ニホンザル
アマオブネ科	サルボウガイ	オキアサリ	ニシン科(イワシ類)	ヒラメ科	爬虫類	ウサギ
ウミナナ類	ハイガイ	ハマグリ	ウナギ属	カレイ科	ウミガメ類	ムササビ
ヘナタリ類	ベンケイガイ	オキシジミ	コイ科	フグ科	ヘビ科	ネズミ類
ツメタガイ	マガキ	オオノガイ	ボラ科		鳥類	タヌキ
レイシガイ	シオフキ	イシゴロモガイ	スズキ属		カモ科	イヌ
アカニシ	シラトリカイ科		アジ類		キジ科	オオカミ
マルナスカガイ	マテガイ科		マダイ			イルカ類
アラムシロ	ウネナシトマヤ		クロダイ属			イノシシ
キセルガイ科	ヤマトシジミ		サバ属			シカ

※赤字は多く見られる種



出典：流山市立博物館

名都借宮之脇遺跡の発掘調査 ① 竪穴住居内に捨てられた土器の様子



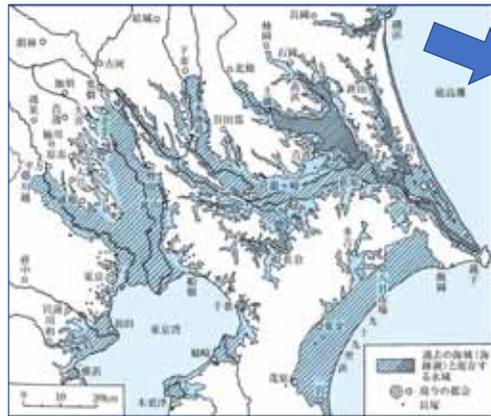
出典：流山市立博物館

名都借宮之脇遺跡の発掘調査 ③ 貝層の様子



出典：流山市立博物館

気候変動と遺跡の分布の関係



・海面上昇の影響
・台風・水害の激甚化



・どうすれば気候変動を減らせるか（緩和策）
・水害から身を守るには（適応策）



土地の地形的な
潜在リスクを理解する

葛飾区史HPより引用、抜粋
<https://www.city.katsushika.lg.jp/history/history/1-2-2-26-1.html>

- ・こうした学習は、非常にインパクトがあるため、印象に残りやすい
- ・是非、自分で地域の地形の成り立ち、地名の由来など、調べてほしい

川がどこを流れているか 知っておく必要がある。

2015年9月 関東・東北豪雨



常総市全体の約3分の1が**浸水**
長期間にわたる**断水**

出典) 左図: 常総市ホームページ

右図: 国土地理院資料

被害状況: 平成27年9月 関東・東北豪雨
常総市災害記録「忘れない19.10」

平成27年9月関東・東北豪雨に係る茨城県常総地区推定浸水範囲
(9月12日15:30時点までに浸水した範囲)



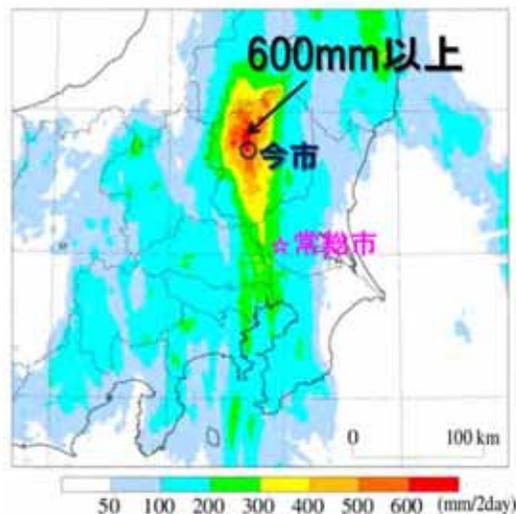
提供: 国土交通省関東地方整備局



(一財) 消防防災科学センター
<http://www.isad.or.jp/>

大雨が降った場所 洪水が起こる場所

13



常総市での水害を
起こした大雨は、
常総市より北に遠
く離れた栃木県日
光市付近で降った
ものだった

河川の上流域で
の大雨に注意!

↑右図:9月8日21時~10日21時の48時間積算降水量分布(解析雨量, mm)

図の出典) 国土地理院資料「常総市水害の概要」(気象研究所資料の図を引用し常総市の位置を加筆したもの)

「水害」に対する知識を高めるには、

- ・自分の住んでいる土地の成り立ちを理解する
- ・川の上流がどこにあり、どこを流れているか理解する

ことが重要なのではないのでしょうか？

地域固有の地理の教材はあまりなく、
それぞれの地域で、作る必要があります。

可能であれば、

- ・自分で調べる (人から聞くより学習効果が高い)
- ・実際に歩いてみる (車では分かりにくい)

= 地域学習として有益